



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年3月15日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満 TEL 043-350-1266
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月31日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の業績（平成27年5月16日～平成28年2月15日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	14,906	4.1	655	△22.4	707	△18.8	431	△15.2
27年5月期第3四半期	14,322	5.1	844	8.5	871	8.8	508	25.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	152.20	—
27年5月期第3四半期	175.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	8,880	5,521	62.2	2,023.75
27年5月期	9,342	5,914	63.3	2,037.04

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 5,521百万円 27年5月期 5,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	27.00	27.00
28年5月期	—	0.00	—		
28年5月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年5月期の業績予想（平成27年5月16日～平成28年5月15日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,450	7.1	1,115	0.2	1,157	0.8	672	4.9	231.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期3Q	2,903,600株	27年5月期	2,903,600株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	175,356株	27年5月期	326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期3Q	2,834,137株	27年5月期3Q	2,903,274株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、企業収益と賃金・雇用環境が改善する中、訪日外国人による消費が拡大するなど緩やかな回復基調にあるものの、生活必需品の値上げ等により消費者の生活防衛意識が高まりを見せていることや、中国での景気減速や米国での金利引き上げなどが世界経済に影響を及ぼす懸念もあり、景気は足踏み状態で推移しました。

外食産業におきましては、同業他社のみならず、他業種他業態との顧客獲得競争が激化するとともに、原材料や人件費といった主要コストが高止まりするなど、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「飽きの来ない旬の食材」「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第3四半期累計期間において、杉並宮前店（平成27年6月）、武蔵小杉店（平成27年7月）及び松戸岩瀬店（平成27年8月）を新規に出店した結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は90店舗となっております。

販売促進につきましては、希少価値の高いプレミアム本まぐろに代表される、当社の主力食材である「まぐろ」にこだわったイベントメニューの充実をはじめ、シルバー層をターゲットとした「七福セット」等の企画商品の展開や、「九州フェア」等の産地直送イベントに注力するとともに、銚子丸らしい「高品質」かつ時節の「旬」な食材による継続的なイベント開催により、お客様の来店動機高揚に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は149億6百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は6億55百万円（同22.4%減）、経常利益7億7百万円（同18.8%減）、四半期純利益は4億31百万円（同15.2%減）となりました。

（注）金額に消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ4億61百万円減少し、88億80百万円（前事業年度末比4.9%減）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ5億39百万円減少し、57億59百万円（同8.6%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金の減少5億54百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ77百万円増加し、31億20百万円（同2.5%増）となりました。これは主に、店舗の出店及び改装による店舗設備の増加であります。

（負債・純資産）

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ69百万円減少し、33億58百万円（前事業年度末比2.0%減）となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ56百万円減少し、27億64百万円（同2.0%減）となりました。主な内訳は、短期借入金の増加2億10百万円及び未払法人税等の減少2億14百万円ならびに未払金の減少2億18百万円であります。

固定負債は、前事業年度末に比べ12百万円減少し、5億94百万円（同2.1%減）となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ3億92百万円減少し、55億21百万円（同6.6%減）となりました。主な内訳は、自己株式の取得7億45百万円、当第3四半期累計期間の四半期純利益4億31百万円及び第38期期末配当金の支払78百万円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高204億50百万円、営業利益11億15百万円、経常利益11億57百万円、当期純利益6億72百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き寿司業態に事業領域を集中し、東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県の一都三県に出店地域を特化して新規出店を推進してまいります。第39期（平成27年5月16日から平成28年5月15日まで）の新規出店数は、8店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成28年2月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,708,870	5,154,144
売掛金	54,469	40,624
原材料及び貯蔵品	224,314	233,001
その他	310,848	331,475
流動資産合計	6,298,502	5,759,246
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,072,775	1,121,507
その他(純額)	408,867	425,304
有形固定資産合計	1,481,643	1,546,811
無形固定資産	145,501	121,323
投資その他の資産		
その他	1,417,576	1,453,906
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,416,497	1,452,827
固定資産合計	3,043,642	3,120,962
資産合計	9,342,144	8,880,209
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,004,283	1,100,392
短期借入金	150,000	360,000
未払金	1,095,628	876,639
未払法人税等	267,362	53,211
賞与引当金	109,300	174,900
株主優待引当金	32,725	26,120
その他	161,797	173,527
流動負債合計	2,821,098	2,764,792
固定負債		
資産除去債務	192,558	199,607
その他	414,413	394,525
固定負債合計	606,972	594,132
負債合計	3,428,070	3,358,925

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年5月15日)	当第3四半期会計期間 (平成28年2月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,361,991	5,714,971
自己株式	△787	△746,413
株主資本合計	5,913,983	5,521,338
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90	△53
評価・換算差額等合計	90	△53
純資産合計	5,914,074	5,521,284
負債純資産合計	9,342,144	8,880,209

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年5月16日 至平成27年2月15日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成28年2月15日)
売上高	14,322,957	14,906,362
売上原価	5,916,741	6,260,978
売上総利益	8,406,216	8,645,384
販売費及び一般管理費	7,561,765	7,989,866
営業利益	844,450	655,517
営業外収益		
受取利息	3,495	3,300
協賛金収入	16,029	17,709
受取補償金	—	22,636
その他	11,641	12,914
営業外収益合計	31,165	56,561
営業外費用		
支払利息	2,815	2,214
現金過不足	1,106	1,345
その他	112	553
営業外費用合計	4,034	4,113
経常利益	871,581	707,965
特別利益		
固定資産売却益	—	1,412
特別利益合計	—	1,412
特別損失		
固定資産除却損	—	2,453
特別損失合計	—	2,453
税引前四半期純利益	871,581	706,924
法人税等	363,044	275,555
四半期純利益	508,537	431,368

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式175,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が745,626千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が746,413千円となっております。